最上地区の県立高校再編整備に係る地域説明会記録要旨 【金山町会場】

- 1 日 時 令和元年11月8日(金)19:00~20:15
- 2 場 所 金山町中央公民館
- 3 出席者 地域の方々36名県教委 須貝教育次長、生島高校改革推進室長、外 事務局職員4名
- 4 内容 生島室長から説明後、質疑応答
- 5 質疑応答概要

(質問・意見)

- ① 今後も少子化が進行するが、令和6年度以降の再編については、どのように考えているのか。
- ② 大規模校に良さがあるように、小規模校にも良さがある。是非、新庄南高校金山校(以下、「金山校」という)を存続して欲しい。
- ③ 路線バスの運行がなくなってしまったら、金山町から新庄市内の高校に通学することができない生徒が出てくる。交通手段も考慮して再編整備を検討しているのか。

(県教委)

- ① 令和6年以降も少子化が進行することは分かっているが、国のシステムの変化、テクノロジー等の進化により、社会はめまぐるしく変化しており、見通しのつかない社会となるため、その時代に合わせて柔軟に対応していきたい。
- ② 学校規模が縮小されると、学校の活力や教育機能の低下が懸念されるが、最上地区にある3 分校は、小規模校ならではの取組みを行っており、小規模校の良さは十分理解している。
- ③ 路線バスの運行がなくなった場合は、想定していない。

(質問・意見)

- ① バス代が高額であるため、新庄市の高校に通学できない生徒が出てきてしまうのではないか。 新庄市までの通学手段の検討がされないのであれば、金山校を存続して欲しい。
- ② 国によって、高校の統廃合の基準は定められているのか。

(県教委)

- ① 列車やバス等の通学手段を考慮しながら検討している。スクールバスを運行する場合、小中学校と異なり、高校の場合は通学範囲が広域であるため制度設計が大変難しい。また、スクールバスの運行により、その高校が生徒募集に有利になってしまったり、公共交通機関への影響が生じてしまったりするなどの問題がある。「学校の統廃合等に関する基本方針」の中に記載されているが、募集停止の基準に抵触した際には、高校に通えない生徒が出てくる場合は、十分に配慮することになる。この基準の見直しを含め、小規模校の在り方を検討している。
- ② 統廃合に関する国の基準は特にない。国の基準では、1学級40人定員と決まっているが、統 廃合の基準はないので、理論上、生徒1人となっても高校は存続できる。しかし、生徒1名の 高校でどのような教育ができるのか、小規模の高校を望む生徒がどれだけいるのかについても 検討しなければならない。

(質問・意見)

○ 金山校がなくなれば、保護者にとって経済的な負担が大きくなるだけでなく、少子化が加速 してしまうのではないか。

(県教委)

○ 10月31日に開催された「小規模校の在り方に関する懇談会」では、学校がなくなると、地域の過疎化の進行、地元企業への就職者の減少、活力の衰退などの問題があると指摘があった。 高校を地域振興の核として高校教育の質の向上に取り組むといった国の方針も示されており、 小規模校の在り方について今後検討していきたい。

(質問・意見)

○ 金山町から最上地区外への転出者が多く、過疎化が進行している。金山校は、地域の活性化 のためには必要な高校であり、是非存続の方向で進めて欲しい。また、金山校を、昼間定時制 として存続することも検討してはどうか。

(県教委)

○ 最上地区外の高校に進学する生徒を食い止めるためにも、新庄市内の高校の魅力づくりが必要と考えている。また、募集停止のルールの見直しを含め、小規模校の在り方について改めて検討する必要があると考えている。

(質問・意見)

○ 小中学生とその保護者に対して再度アンケート調査をするなどして、多くの意見を聞くべき ではないか。

(県教委)

○ 今のところ、アンケート調査の予定はない。令和2年3月の計画案の公表後、地域説明会、パブリック・コメント、意見聴取を実施し、地域の皆様から幅広くご意見を伺う予定としている。

(質問・意見)

○ 募集停止のルールには、入学者数が2年連続して20名未満となれば、原則として2年後に募集停止とある。もし、募集停止となった場合は、在学している2年、3年はどうなるのか。

(県教委)

○ 昨年までは、中学生の進路選択に配慮して、学級減は2年前に公表してきたが、今年の3月に令和6年までの学級減を公表した。ただし、最上地区の学級減に関しては、令和2年3月に公表する予定としているが、保護者の不安のないように配慮したい。これまでは、本校に2・3年生を統合した飯豊分校以外は、募集停止となった年は、2・3年生だけ在籍し、翌年は、3年生だけが在籍し、そして、3年生が卒業するときに閉校としてきた。

以上